

「地域計画策定に係る協議について」

京都府 和束町農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	14人
○ 農地利用最適化推進委員	:	4人
○ 事務局職員	:	2人
○ 関係団体（名称のみ）		
○ 市町村行政との連携状況		

（ 写 真 ）

2 地区の特徴、状況、課題

（市町村の概要）町全体のうち大部分を広大な山林及び農地で占めている。基幹産業は茶業。

（地区の概要）14の地区からなり、特に北東の湯船地区、南の木屋地区については、高齢化と人口減少が顕著。

（地区の課題）農業の担い手の高齢化と減少が課題。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

令和7年3月までに策定予定の地域計画について、農業委員及び最適化推進委員を中心に協議を進めた。基幹産業が茶業であることから、茶畑の品種や樹齢などがあるため、集積して最適化を推進していくのが難しいという意見もありましたが、農地を守っていくために農業委員を中心に地域で話し合い、農家の意見を取りまとめた。今後も遊休農地が発生しないよう地域で協力していく必要がある。

4 成果（地域計画の実行に向けた取組内容）

令和7年3月に策定を目指している地域計画も今後の担い手や茶畑に改植などにより、変更が出てくることが想定されるため、常に現状を把握し、更新することで成果がでると考える。

来年度以降も農業委員を中心に現状の把握をしていく。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください